

題材名 教材教具名	手洗い手順の立体模型
教科・領域	作業学習、日常生活の指導
考案者・製作者	鈴木 幸恵
必要な物(写真があるとよい)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">      </div> <p>・軍手(肌色手袋)      ・綿 ・縫い糸(刺繍糸)、縫い針      ・ネイルチップ      ・フェルト      ・ボンド</p>
保管場所	食堂前手洗い場または調理室(予定)
内容・使い方	<p><b>(1) 模型の製作</b>          &lt;作業学習&gt;          生徒・・・軍手に綿を詰める。ひたすら詰める。 → 手工芸や、小物の製作へ応用。          教師・・・綿の詰まった軍手を縫い合わせる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p><b>(2) 模型の使い方</b>          &lt;日常生活の指導&gt;          手洗いの際、立体模型を提示して、丁寧な手洗い指導を行う。          模型を、上から握るように、同じ動作を行ったり、手順に沿って提示したりする。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
備考 (教材・教具の工夫点や配慮点)	<p>児童生徒が健康で安全な学校生活を送るために、手洗いやうがいには大切である。以前、スクールプランで手洗い徹底の目標があった時、学校ぐるみで、手洗い指導に力を入れていた。当時、担当生徒の保護者から、「家でも丁寧に手洗いをするようになった。」との評価を頂いた。しかし、現在、自ら丁寧に手洗いをしている場面が、以前ほど多くないと感じる(声掛けやガイドが必要…)。また、写真ではわかりづらい手のひらや手の甲の重ね方や爪の先、手首などの洗い方も表現したかった。</p> <p>そこで、「手洗い」に関心を持ってもらうために、立体模型の製作を思いついた。作業学習で生徒が製作に関わることで、立体模型の触り心地や見た目を重視した。給食前や調理前の手洗い時に、児童生徒が関心を持って「手洗い」に取り組んでくれるといいな…との願いを込めて、製作した。</p> <p>(ちなみに、高等部3年八〇さんの卒業制作として、展示させていただきたい。)</p>